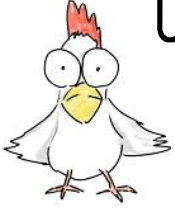


家畜衛生情報



沖縄県でニューカッスル病が発生！

平成20年12月

【発生概要】

発生場所： 国頭郡恩納村

飼養状況： 8,000羽飼養(ブロイラー鶏、4鶏舎)

発生の経緯：

12月2日 ・農場より家畜保健衛生所に1鶏舎で沈うつ、死亡する鶏が増加した等の連絡あり。

・直ちに出荷自粛の指導、検査及び緊急消毒を実施。

12月5日 ニューカッスル病ウイルス分離

12月9日 他の3鶏舎でも抗体価の上昇

*4鶏舎の管理者は同一。

周辺の養鶏場で異常を示す個体は確認されていない。

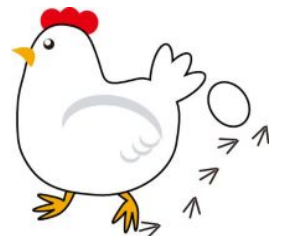
【今後の防疫対応】

- ・すべての飼養鶏の殺処分及び埋却・消毒を実施
- ・県内養鶏場の飼養衛生管理基準の遵守を徹底指導
- ・隣接する農場(ブロイラー、3,800羽)は自衛的な殺処分

本病は適切なワクチン接種で未然に防止出来ます。定期的な抗体検査とワクチン接種を心がけましょう。

日常の健康観察を徹底し、鶏群に異常がみられたときは家畜保健衛生所まで連絡して下さい。

裏面につづく...



飛驒家畜保健衛生所

TEL(0577)33-1111 FAX32-9019

E-mail:c24508@pref.gifu.lg.jp

ニューカッスル病とは

原因:ニューカッスル病ウイルスを原因とした鶏の病気です。
(人には感染しません)

発生状況 :このウイルスは、野鳥等が保有していることから、
家きんでも毎年数件の発生がみられます。

病気の特徴:本病は伝染性が強く、感染した鳥は神経症状等の
重い症状を示します。

発生すると・・・感染が確認された場合は、家畜伝染病予防法に基づき、
殺処分するなどの、まん延防止措置がとられます。

国内でのニューカッスル病の発生状況

平成17年 4農場 (福岡、宮城)

平成18年 4農場 (福岡)

平成19年 1農場 (富山)

治療がないため、野鳥との接触防止による
ウイルス侵入防止や、予防のためのワクチン接種
を実施してください。

